



▶ バイオマス利活用フロンティア推進事業の継続

ユニーが進める「バイオマスプラスチック製容器使用」の取り組みは、2006年5月に農林水産省から「バイオマス利活用フロンティア推進事業」として認定されました。この事業は、バイオマスプラスチックの普及を目的に、広く一般へ認識してもらい利用の促進を図ったものです。この「バイオマス利活用フロンティア推進事業」は、2009年3月にて終了してしまいましたが、引き続きバイオマス容器の積極的な利用拡大およびリサイクルに努めていきます。2009年度は、お客様や売場から回収したバイオマスプラスチック容器が使用量の約10%の回収率になりました。回収した容器はすべて再生品として、定規などに製品化をしています。

▶ バイオマスプラスチックの普及活動

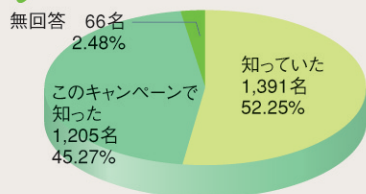
2006年のバイオマスプラスチック製容器導入以来、ユニーでは各自治体や店舗での環境展やイベントで、消費者のバイオマスプラスチック認知向上のための啓発活動を行っています。バイオマスプラスチックが石油由来プラスチックと違い、持続可能な素材であり、地球温暖化防止に貢献するということができるだけたくさんの消費者に知ってもらい、店頭回収リサイクルへの参加を促進する活動です。またアンケートでは、認知度とともに消費者から感想や意見を聞き、普及活動の参考にしています。

アンケートの結果

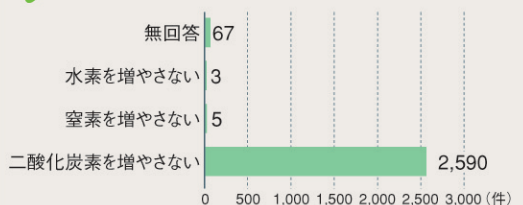
※このアンケートは2009年三県一市グリーンキャンペーンでの、卵さらし10個入り・カットフルーツ購入者を対象にしたものです。

2010年1月・2月に、18県下のアピタ・ピアゴのお客様2,662名を対象に実施した、はがきの応募によるアンケート調査の結果です。

Q 植物を原料として作られるバイオマス容器を知っていましたか？



Q バイオマスプラスチックはどうして環境に良いのでしょうか？



お客様からのご意見・ご感想

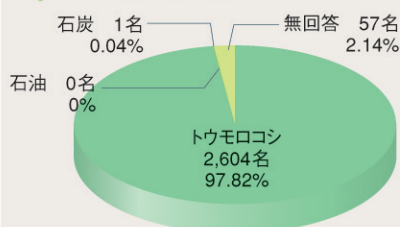
生ゴミなどの堆肥に入ると分解され自然にかえるというポイントが良いです。プラスチック容器のゴミがよく海岸などに浮いていますがこのバイオマスプラスチックなら安心です。

この取り組みを知ってから、バイオマス容器の卵パックを選んで買うようにしていますが、バイオマス容器の卵パックの種類をもっと増やしてほしい。

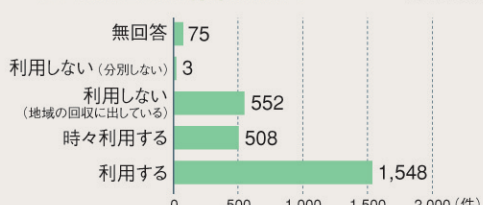
バイオマス容器の卵パックを専用回収ボックスへ持って行けばリサイクルできるのなら、「地球にやさしい」取り組みに、私達も協力したい。

トウモロコシから作られると聞いて、びっくりしました。バイオマス容器の使用によって、食用としてのトウモロコシが不足しなければ、素晴らしいと思います。

Q バイオマスプラスチックは何でできていますか？



Q ご家庭で出たリサイクルできるゴミ(牛乳パック・トレイ・アルミ缶・スチール缶・ビン・ペットボトル)はリサイクルBOXを利用しますか？



三県一市グリーンキャンペーン

2002年より愛知県・岐阜県・三重県と名古屋市と共催で、「環境にやさしいお買い物」を推進するキャンペーンに参加しています。またユニー独自の取り組みとして、バイオマスプラスチック容器に貼付してあるシールをはがきに貼って送っていただいたお客様にプレゼントを進呈する啓発キャンペーンを実施いたしました。



▶ 今後の課題と展開

バイオマスプラスチックは、植物を原料にしているので地球環境に負荷を与えることが石油由来のものに比べ少ない素材です。ユニーが実施しているように、使用済み容器をリサイクルすることもでき、土壌に埋めると分解して自然界にかえすこともできます。このように環境にやさしい素材であるにも関わらず普及していかない原因は、原料価格が従来の化石由来のものに比べ、1.5～2倍であるということです。また、今後バイオマスプラスチック製容器が普及し環境にやさしい容器が広く使用されるためには、「容器包装リサイクル法」のリサイクル委託料金を「その他プラ」から「紙(植物由来の容器です)」と同じ料金に改訂していくことだと考えます。そして、化石由来のものに比べ、LCA(製品の原料から製造・運搬・使用・廃棄まで)のCO₂排出量が少なく、カーボンフットプリントの数値が低いことを明らかにし、世の中で支持を得ることでさらに普及を促進することにつながります。

